

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信」は、第1期の決算を行ないました。当ファンドは、主として新興国の国内経済の長期的な成長トレンドから恩恵を受ける中小型企業の株式等（預託証券を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社  
カスタマー・コミュニケーション部  
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0570-051-104**

受付時間：営業日の午前9時～午後5時  
固定電話、携帯電話からお問い合わせいただけます。  
国際電話、一部のIP電話からはご利用いただけません。

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 〈閲覧方法〉

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

## フィデリティ・新興国中小型成長株投信 愛称：エマージング・ハンター

追加型投信／海外／株式

### 交付運用報告書

第1期(決算日 2025年2月20日)  
作成対象期間(2024年4月24日～2025年2月20日)

日経新聞掲載名：エマハン

第1期末 (決算日 2025年2月20日)	
基準価額	9,520円
純資産総額	108,390百万円
第1期 (2024年4月24日～2025年2月20日)	
騰落率	△4.8%
分配金合計	0円

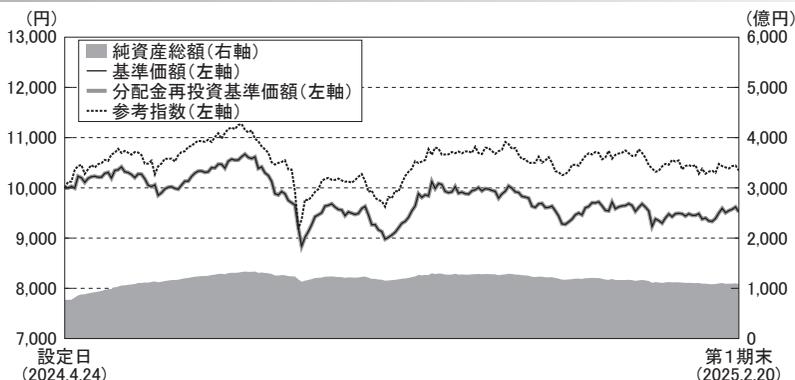
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



# 1. 運用経過の説明

## ① 基準価額等の推移



設定日: 10,000円

第1期末: 9,520円 (既払分配金0円)

騰落率: -4.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額および参考指数は、当ファンドの設定日(2024年4月24日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は「MSCIエマージング・マーケット・SMIDキャップ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

## ② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は-4.8%でした。

当ファンドは、フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

<プラス要因>

株式相場が上昇したこと。

<マイナス要因>

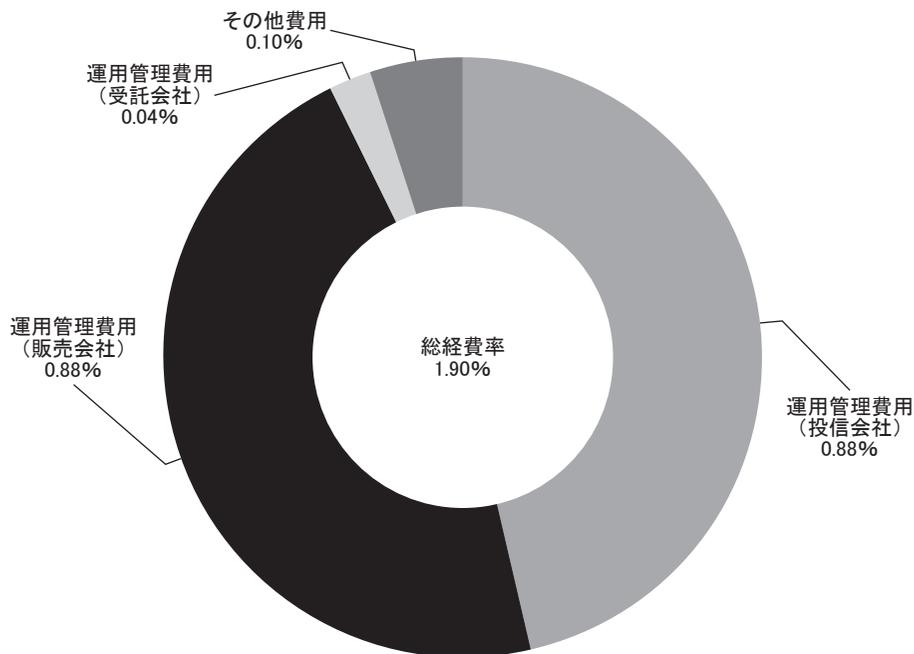
米政権の政策に対する不確実性。



## (参考情報)

### ●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.90%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

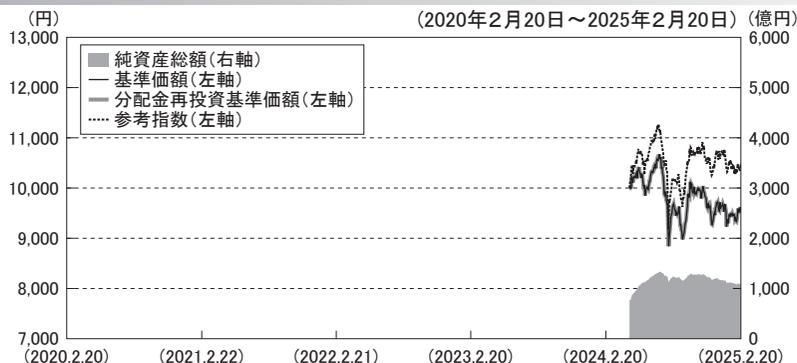
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

#### ④最近5年間の基準価額等の推移



	2024年4月24日 設定日	2025年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,520
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.8
参考指数騰落率 (%)	—	3.4
純資産総額 (百万円)	77,046	108,390

(注1) 分配金再投資基準価額および参考指数は、当ファンドの設定日(2024年4月24日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は「MSCIエマージング・マーケット・SMIDキャップ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

## ⑤投資環境

当期の新興国中小型株式相場は上昇しました。期初から6月末にかけては、米長期金利の上昇や中東情勢の悪化が嫌気されたものの、中国政府による資本市場の制度改革に関する新指針の発表が市場の支えとなったことや人工知能(AI)関連需要の高まりを背景に、堅調に推移しました。7月から9月末にかけては、米政権が中国に対する半導体関連の規制強化を検討していることが明らかになり、これを契機に、半導体市況やAI事業の成長期待が後退しました。加えて、米国の景気減速懸念の高まりが嫌気され、失業率が高まったことなどを契機に米国の景気後退への警戒感が強まり、株価は下落しました。10月から年末にかけては、米大統領選においてトランプ前大統領の勝利を受けて、米中貿易摩擦が懸念されたことや底堅い米国経済を背景に米利下げペースの鈍化が市場の重しとなり、軟調に推移しました。2025年1月から期末にかけては、米トランプ政権の関税政策を巡る不透明感が懸念されたものの、中国の人工知能(AI)モデルの発表を背景にハイテク株への注目が高まり、上昇しました。

## ⑥ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資をしております。以下、フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンドについて記載しています。

当ファンドは、主として新興国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中小型企業やその他の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している新興国と緊密な経済関係のある中小型企業の株式等を中心に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。また、株式等への投資に加え、上場不動産投資信託にも投資を行うほか、市況動向等により比較的大型の企業の株式等にも投資を行うことがあります。その他、資金動向、市況動向、残存信託期間、口座開設状況等によっては、上場投資信託等を活用する場合があります。企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

当期において、当ファンドは上記方針に沿った運用を行いました。なお、当ファンドにおける組入上位10業種の比率は以下の通りとなりました。

### 組入上位10業種

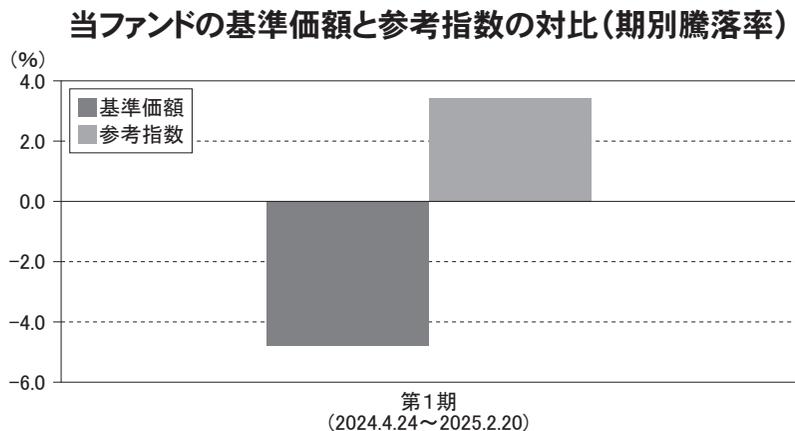
当期末

	業種	比率
1	資本財	10.9%
2	耐久消費財・アパレル	7.3
3	金融サービス	7.2
4	消費者サービス	6.7
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.6
6	保険	6.1
7	運輸	5.7
8	半導体・半導体製造装置	5.2
9	不動産管理・開発	4.4
10	銀行	4.2

(注)「比率」欄は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## ⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、ベンチマークを設定していません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

※参考指数は「MSCIエマージング・マーケット・SMIDキャップ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

## ⑧分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### ●分配原資の内訳

(単位: 円、1万口当たり・税引前)

項目	第1期
	2024年4月24日～2025年2月20日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	146

\* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

\* 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

\* 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

## 2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、引き続きフィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

新興国各国を取り巻く環境は異なるものの、魅力的な投資機会は豊富に存在しています。中国では政府と中央銀行による景気刺激策や、消費主導経済へのシフトが追い風として期待されます。インドは更なる成長を遂げる潜在力を有している半面、株式市場が割高とみられ、銘柄選別がよりいっそう重要とみられます。新興国全般では今後、世界的な金融緩和や、インフレの落ち着きによる消費の回復等が企業業績や株価への追い風になると想定されます。また、先進国株に対しバリュエーションが割安な水準であることも新興国株の支援材料になると予想されます。今後は各企業の業績やファンダメンタルズへの注目が高まり、銘柄選別の重要性が増すと考えられます。当戦略では、ボトム・アップ・アプローチを柱として企業の競争優位性や経営陣の資質を見抜き、素晴らしいビジネスを有する企業に割安な株価水準で投資することを目指します。

## 3. お知らせ

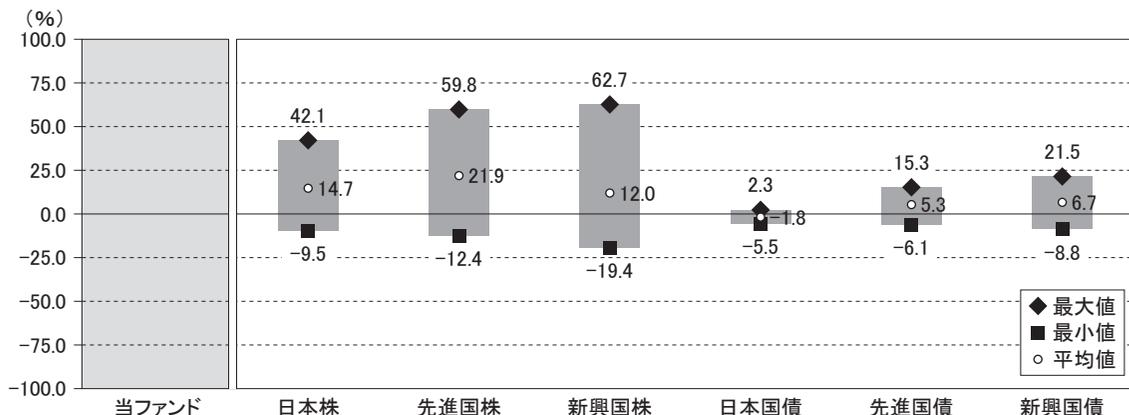
該当事項はありません。

## 4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(2024年4月24日設定)	
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として積極的な運用を行いません。	
主要投資対象	ベビー・ファンド	フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド	新興国の国内経済の長期的な成長トレンドから恩恵を受ける中小型企業の株式等(預託証券を含みます。)を主要な投資対象とします。
運用方法	<p>●フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国<sup>*1</sup>の国内経済の長期的な成長トレンドから恩恵を受ける中小型企業の株式等(預託証券<sup>*2</sup>を含みます。)に投資し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として積極的な運用を行いません。</p> <p>●新興国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中小型企業やその他の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している新興国と緊密な経済関係のある中小型企業の株式等を中心に投資し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として積極的な運用を行いません。また、株式等への投資に加え、上場不動産投資信託にも投資を行なうほか、市況動向等により比較的大型の企業の株式等にも投資を行なうことがあります。その他、資金動向、市況動向、残存信託期間、口座開設状況等によっては、上場投資信託等を活用する場合があります。</p> <p>●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>*1 新興国とは、MSCIの定義によりエマージング・マーケットに分類された国または市場、世界銀行によって中・低所得国に分類された国または市場や、それらと同等の特性を持つとFIAM LLCが判断する国または市場を指します。</p> <p>*2 預託証券とは、ある国の企業の株式を海外でも流通させるために、その企業の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことをいい、発行された国の金融証券取引所等で取引されます。</p>	
分配方針	<p>毎決算時(原則2月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行いません。</p> <p>●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。</p> <p>●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。</p>	

## 5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドは設定から1年を経過していないため、当ファンドの年間騰落率を表示できません。他の代表的な資産クラスについては2020年2月～2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

#### ※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

\* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

## 6. 当ファンドのデータ

### ①組入資産の内容

#### 組入上位ファンド

(2025年2月20日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド	100.0%
組入ファンド数	1ファンド

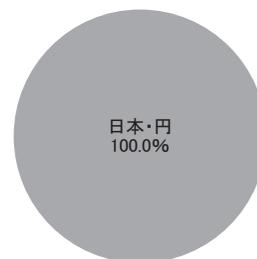
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### ②純資産等

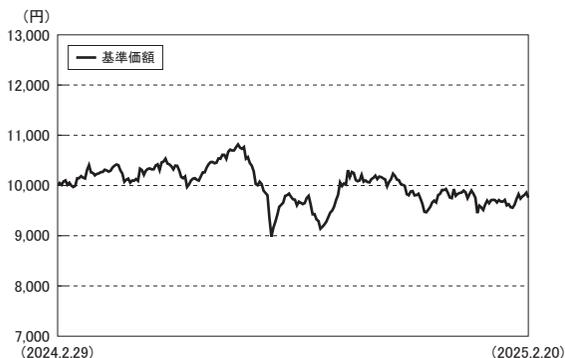
項目	当期末
	2025年2月20日
純資産総額	108,390,649,283円
受益権総口数	113,850,641,245口
1万口当たり基準価額	9,520円

(注) 当期中における追加設定元本額は56,741,750,944円、同解約元本額は19,937,601,299円です。

### ③組入上位ファンドの概要

#### フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド 基準価額の推移

(別途記載がない限り2025年2月20日現在)



#### 組入上位10銘柄

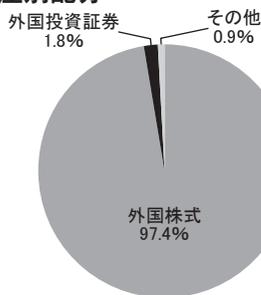
	銘柄名	通貨	比率
1	GREEK ORG OF FOOTBL PROGNO SA	ユーロ	1.3%
2	BIZLINK HOLDING INC	台湾・ドル	1.3
3	YAGEO CORP	台湾・ドル	1.3
4	SHENZHEN INVANCE TEC CO LTD A	オフショア・人民元	1.3
5	REALTEK SEMICONDUCTOR CORP	台湾・ドル	1.3
6	DINO POLSKA SA	ポーランド・ズロチ	1.3
7	TRAVELSKY TECHNOLOGY LTD H	香港・ドル	1.2
8	BANK OF GEORGIA GROUP PLC	イギリス・ポンド	1.2
9	COWAY CO LTD	韓国・ウォン	1.2
10	QUALITAS CONTROLADO SAB DE CV	メキシコ・ペソ	1.2
組入銘柄数		107銘柄	

#### 1万口当たりの費用明細

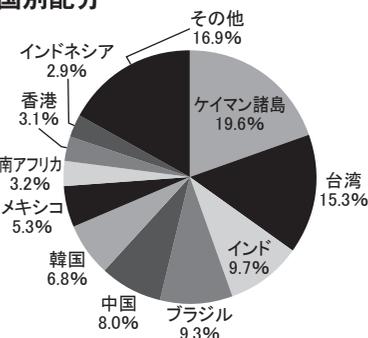
(2024年2月29日～2025年2月20日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	29円
(株式)	(28)
(投資信託受益証券)	(1)
(投資証券)	(1)
(b) 有価証券取引税	11
(株式)	(11)
(投資証券)	(0)
(c) その他費用	9
(保管費用)	(9)
合計	49

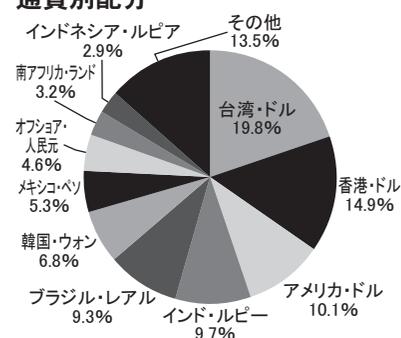
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

\* マザーファンドの計算期間は当ファンドの作成対象期間と異なります。マザーファンドの運用経過および組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 指数に関して

### ●参考指数について

- ・MSCIエマージング・マーケット・SMIDキャップ・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

### ●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバर्सファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複製、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複製・転載を禁じます。

